

## 世界スカウトジャンボリーの参加者感想

田中駿伍君

### About Jamboree

I went Jamboree of Boy Scout from July 27<sup>th</sup> to August 8<sup>th</sup>. We got to Yamaguchi and built tent. And we helped to foreign scout build their tent. We went to opening ceremony 29<sup>th</sup>. It was fun. Program started from 30<sup>th</sup>. We went science program 30<sup>th</sup>. Some company and volunteer came to it, for example Toyota, Yakult and Hitachi. It was interesting. We went water program 31<sup>st</sup>. It swam in the pool. It was not very fun. We went culture program 1<sup>st</sup>. we learned foreign culture. It was fun. We went piece program 2<sup>nd</sup>. We went to Atomic Bomb Memorial in Hiroshima. There was a cool thanks to cooler. We did food festa 3<sup>rd</sup>. it was that we ate foreign food. Tea of Scout Africa and Chinese is very good! My squad was able to experience the tea ceremony. Maybe guest enjoyed that. We went at elementary school 4<sup>th</sup>. It's not very fun. We went environment program 5<sup>th</sup>. We went to limestone cave and shrine 5<sup>th</sup>. They were so beautiful. We had free time 6<sup>th</sup> and 7<sup>th</sup>. We went foreign squad and ate dinner with Thai. It was so fun. And Thai food was spicy and good! We went closing ceremony 8<sup>th</sup>. Then I thought lonely. I think "it was good to be valuable experience".

Shungo tanaka

森嶋知樹君

23WSJに参加して

大阪まちかね隊

WING 班

森嶋知樹

私は今回の第23回世界スカウトジャンボリーに参加して、改めてスカウトの素晴らしさを感じました。今回の世界ジャンボリーには146カ国からスカウトが参加しました。

もちろんそれぞれの文化、言語、宗教、民族、習慣は異なり、それぞれ違った価値観を持っています。また、中には内戦や紛争が絶えない国、貧困のため学校に行けない国、借金が多くて政府が崩壊しそうな国など事情を抱えた国もあります。

しかし、この23WSJでは、すべてのスカウトが互いに助け合いながら、かけがえのない時間を共有していました。私は全員がスカウトの「ちかい」と「おきて」を実践したからこそ、これが可能になったのだと思います。なので、今後もスカウト精神を胸に世界中の人々と協力し合いながら、かけがえのない時間を共有していきたいです。

## 中西大和君

### 世界ジャンボリー感想

今回の世界ジャンボリーに参加してまず、思ったことは、前回の日本ジャンボリーとは比べ物にならないほどスケールが大きいという事です。

どこを見ても外国スカウトばかりで日本にいるけれどもどこか海外に来た様な気持ちになりました。

また、ベンチャー人生初の外国スカウトに日本についてどう思っているのか、アンケートを取るというプロジェクトも成功させることができたので、良かったです。

特に、様々な国の人が日本についてよく思ってくれていたのととても嬉しかったです。

次の世界ジャンボリーも、機会があれば行ってみようかなと少し思いました。

中西大和

## 吉田秦伍副長

### 大会の感想

2週間という長期、周りが全て世界、というスカウトたちにも、自分にとっても初めての環境でした。

この経験(良いものも悪いものも、自信も後悔も)が、間違いなくスカウトたちの心に残ったことがこの大会の収穫だと思います。

きっと、多くのスカウトたちの人生に何らかの変化は与えたと確信しています。多くの皆様に支えられ、このかけがえのないスカウトたちの思い出に関われたことを感謝します。大阪で支援し

ていただいた指導者の方々、現地の IST、山口のボランティアの方々、本当にありがとうございました。

今後の私の役割は、このスカウトたちの人生に関わった責任として、見守ることだと思っています。大したことはできないかもしれませんが、また行事などで会うことがあれば、背中を押すように声をかけたいと思います。

最後に、素晴らしいスカウトたちと指導者のみなさんに巡り会えたことに感謝します。ありがとうございました。

### 改善点

#### \* 一部日本人 IST の態度

特に、高齢の IST は対応の悪い人が多かった印象です。

- ・日本人のスカウトや、若い指導者に対しては基本的に迷惑そうに邪険に扱う人が多い。
- ・平気で後回しにし、別の対応を始める。
- ・まだ対応が終わっていないのに、別のところに座って、話を始める。
- ・外国スカウトに対する愚痴を日本スカウトにもらす。八つ当たりのような態度をとる。

外国スカウトに対しては、話を聞くように見えるが、実際は聞いておらず、（おそらくは大半が理解できていないのかもしれない）

理由も言わず解決策を示すことも無く、NO とつき返し外国スカウトが嫌な顔をして帰る、という状況を何度と無く見ました。

これは、その IST が悪いのではなく、適材適所になっていなかったように感じました。

今後、海外スカウトと特に関わることの多い業務（サブキャンプサービス、プログラム）への配置はもうすこし考慮があってもいいかと感じました。

#### \* 閉会式

他のセレモニーや行事は楽しく、教育的内容も含み、盛り上がる内容であったが、閉会式だけは少し毛色が違うように感じました。

正直、閉会式は戸惑う内容が多く、全く感動できなかった。

- ・セレモニー要素とライブ的要素を交互にするべきではない
- ・アイドルやギタリストが自分の宣伝や腕自慢に来る場面ではない
- ・“和”の要素、世界が一つになるような演出があって欲しかった。三本締めは、“それ”ではない
- ・2 週間を振り返り、未来につなげるような演出があって欲しかった。振り返り映像で、“個人の笑顔”に焦点を当てると全員の共感は得られない

#### \* 最終日周辺の連絡体制の崩壊？

とにかく、最終日周辺の連絡の遅さ、変更の多さはひどかった。

スカウトにとって重要な、フレンドシップアワードや、ワイドゲームが最後まであやふやなまま、過ぎていった印象となった。

## 評価

先に記述した、日本人 IST と比べるわけではないですが、関わった外国人 IST の方々はみなさん総じて、スカウトのことを第一に考え、とても柔軟な対応をしていただいた印象です。

### \* セーフティ

最初の入場の際、ID カードがすでに中にあったため、迎えに来てもらうことになり、ゲートの外で待っていた。

すると、ゲートのセーフティの IST が困っていると思ってくれたのか、声をかけてくれ、ゲートの中に入れてくれた。

去り際に、彼が

I trust you. You're scout!

と、言ってくれた。

本来は、入れてはいけないとは思いますが、会場に到着してかけられた第一声がこれだったため、“世界のスカウティング”をなんとなく感じる事ができた気がしました。

### \* ジャクチサブキャンプの受付

プログラムは全項目クリアしていたが、途中で帰宅してしまい、フレンドシップアワードを欲しがっていたがもらえなかったスカウトがいたため、事情を説明したが、最初は全く伝わらず困っていた。しかし、親身に理解しようとしていただき、紙に書いて説明したところ、わかってくれたようで快く渡してくれた。

証拠もなかったのに、本来渡してはいけないはずだが、信頼して嫌な顔一つせず渡してくれたことに感謝でした。

大阪まちかね隊副長 吉田泰伍